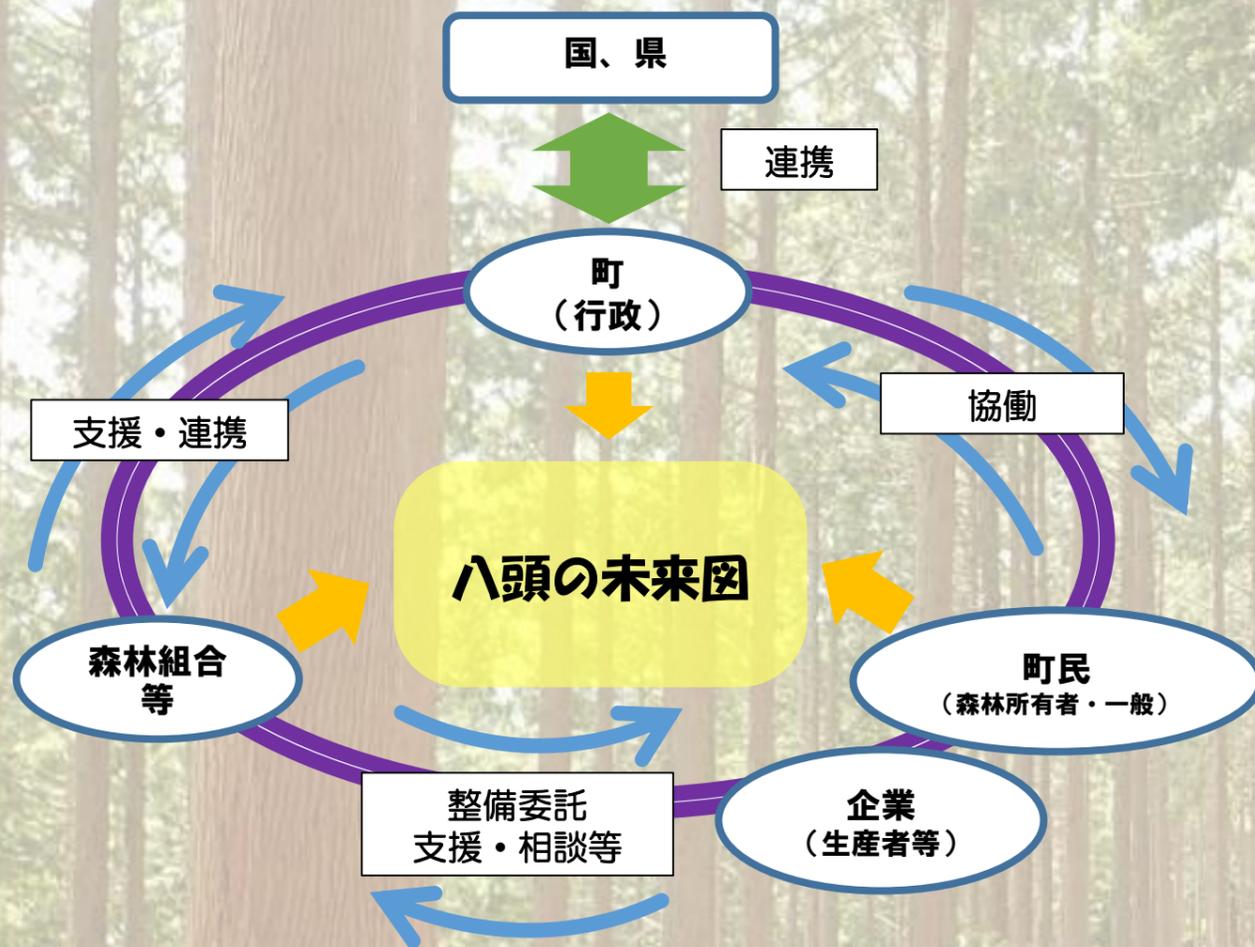


## ビジョンの推進体制と各団体の役割



区分	主な役割
町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョンの推進、施策への反映</li> <li>・国、県及び他の地方公共団体等との連携</li> </ul>
森林組合等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が実施する森林施策への協力・連携</li> <li>・計画的な森林管理の実行・支援</li> </ul>
企業 (生産者等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が実施する森林施策への協力</li> <li>・特用林産物の生産への取り組み</li> </ul>
町民 (森林所有者・一般)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者自らの森林管理や町・森林組合等への整備委託</li> <li>・町が実施する森林施策への協力・参加</li> <li>・山を知り、山に親しみ、木を使う</li> </ul>

完全版は八頭町HPで公開しています

〒680-0493 鳥取県八頭郡八頭町郡家493  
 八頭町役場 産業観光課  
 電話 0858-76-0208  
 FAX 0858-76-0217

ビジュアル版

# 八頭町森林・林業ビジョン

策定期間：令和2年➡令和11年

## 策定の目的

本町における、森林・林業の諸問題を解決し豊かな山の資源の次世代への継承を目的とし、八頭の未来へ近づくことを目標にビジョンを策定しました。

## ビジョンの目玉

- ☆航空レーザデータのフル活用
- ☆民間による森林整備のより一層の推進
- ☆広葉樹林・竹林も管理

## スローガン

繋げよう 八頭の森林を 未来へ

## ビジョンの3本柱

- ①森林を営む
- ②森林の恵みを活かす
- ③森づくりを担う人を育てる

# 取組み内容と八頭の未来図

**① 森林を営む**

徐々に森林の若返りを図ります

危険地形を知り災害発生を予防

航空レーザやドローン等のICTを活用

木材生産できる山はひとまとめに民間に委託し、道の整備や搬出を支援します

竹林整備を進め、タケノコの増産につなげます

町管理で自然に戻し、動物との共存を目指します

木材生産に向かない山は、町管理で自然に戻し、動物との共存を目指します

**② 森林の恵みを活かす**

木材加工場

地域内で木材の消費を増やします

赤ちゃんから木育を推進します

シイタケなどの森林から得られる産物の生産を支援

**③ 森づくりを担う人を育てる**

林業で働く人材の確保と技術者育成を支援します

森林教室や林業体験などを通じ、森への親しみを呼び起こします

# 森林整備の必要性

**整備されていない森林**

込み合いヒョロヒョロの木

光が遮られ地面に届かず

雨により地面が浸食

**整備された森林**

成長促進

光が届き植物成長

地面の草で浸食を防止

整備をしないと、木々が込み合うことで幹が細く風害に弱くなります。さらに、光が遮られるため地面に植物が生えず、むき出しとなり、雨に浸食されやすいなど災害に弱い森林になります。

整備し間引くことにより幹は太く成長し、加えて木の隙間から光が届き地面の下草が増え、雨の衝撃を吸収し浸食を防ぐなど災害に強くなります。

**個別の森林を集約化して「ひとまとめ」に**

Aさんの森林

Bさんの森林

Cさんの森林

Dさんの森林

Eさんの森林

車道

搬出道

**木材搬出道のルートも効率的に**

個人の森林は面積が小さく、別々に整備するのは非効率です。特に車道から離れたEさんの森林は、重機が入れないため木を出せません。

しかし、整備を「ひとまとめ(集約化)」にすれば、全員の森林に道を付けることができ重機が入れるため、より多くの木材を効率的に搬出できます。